

人文社会科学特別科目(博士課程対象)

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講学期	曜日	講時	頁	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
人文社会科学特別科目	災害の人文社会科学	2	城戸 淳 ほか	1学期	木	1		

科目名：人文社会科学特別科目／ International Reserch (Practicum)II

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：1 学期， 単位数：2

担当教員：城戸 淳 ほか（教授、准教授）

講義コード：LM14101， 科目ナンバリング：LAL-OAR701J， 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

災害の人文社会科学

2. Course Title (授業題目)：

Humanities and Social Sciences of Disasters

3. 授業の目的と概要：

本授業は後期課程の学生を対象として、人文社会科学の幅広い視野を提供するものである。研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識、そして高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を持つことを目的とする。「人間を理解する」ことに関して、日本学専攻・広域文化学専攻・総合人間学専攻の教員が、それぞれの専門の視点からオムニバス形式で講義を行う。ここでは特に災害を共通テーマに据え、日本文化に見る災害、世界各地の災害観、災害支援における社会・心理的影響など、幅広い視野から災害に関する人文科学的アプローチについて多角的に学ぶ。

(オムニバス方式／15 回)

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

In this course ,students will understand the humanistic approach to disaster and learn about humanities and social science methods.Faculty staff members of the Faculty of Arts and Letters provide lectures in an "omnibus" style.

5. 学習の到達目標：

(1) 人文社会科学の幅広い視野を提供し、研究者として自らの専門を深く掘り下げるために必要な広範な知識を身につける。(2) 深く広い知識をもとに、高度専門職業人として要求される俯瞰的な視野を涵養する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

This course helps students recognize the wide view and extensive knowledge for the research of the humanities and social sciences.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

担当者ならびに講義内容（講義順番は未定）

1 籠橋俊光 「災害の史料学」

2 片岡龍 「災害と日本思想史」

3 クレイグ・クリストファー 「Japanese Disasters in Global History」

4 小林隆 「災害と言葉」

5 佐倉由泰 「災害と日本文学」

6 今井勉 『『ハイチ震災日記』を読む』

7 谷山洋三 「被災地での宗教者の活動」

8 沼崎一郎 「災害人類学」

9 三浦秀一 「伝統中国における災害救済の思想」

10 山田仁史 「災害の神話学」

11 阿部恒之 「災害心理学—災害文化と創発規範」

12 大森美香 「災害心理学—防災行動とリスク認知」

13 小松丈晃 「災害の社会学—東日本大震災以降の課題」

14 佐藤嘉倫 「Behavioral Science of Disasters— Social Capital and Recovery from Disasters」

15 杉本欣久 「江戸時代における京都御所の火災と復興」

一部の講義では使用言語を英語とする。

本科目は教室での受講に加えて ISTU での受講も可とする。

8. 成績評価方法：

出席（ISTU 受講によるものを含む）とレポート。

9. 教科書および参考書：

講義中に別途指示する。

10. 授業時間外学習：

講義内容を踏まえつつ、参考文献等を参照して復習し、さらに関連する文献等に触れ、発展的な理解を得るように努める。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practicalbusiness

12. その他：

特になし。

